



第320号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



ひと夏の宴



カット：本多紘子

今年はまだ夏の名残の日差しが強く、秋の気配を感じられない昨今です。倉敷では7月の半ばから8月下旬まで雨らしい雨が降らなかつたので、灼熱地獄のようでした。皆様お元気ででしょうか。

家庭菜園でキュウリやナスを育て楽しんでいた方々も、8月初めには少々の水やりをしても苗が枯れてしまったそうです。愚僧もお盆参りから疲れて帰っても家庭菜園や庭木に水をやりましたが、たくさん野菜が枯れ、鉢植えの庭木も枯らし、とても残念です。家の中にもても高齢者が暑さで熱中症になるぐらいですから、野菜や庭木も可哀想です。地球温暖化を何とか止めないと猛暑は厳しくなるばかり。

地獄と言えば、7月26日午前2時45分ごろ、相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」に元施設職員植松聖容疑者が侵入し、重度障害者の人々をナイフや包丁で刺し19人が死亡、職員2人を含む26人が重軽傷となる戦後最悪の大量殺人事件が発生しました。「重度の障害者は社会的活動が極めて困難であり、家庭内でも、社会的にも不幸であるから、安楽死をさせてあげたい」という趣旨の手紙を衆院議長宛に送っていたと言うから、本当に悲しい事件です。医学は進歩しても、障害者は増え続けます。障害者と共に生きたいものですね。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

8月に入つての熱い戦いと言えば、やはりスポーツの祭典であるブラジルのリオデジヤネイロで開催されている五輪競技ですね。世界の一流選手が集まり、高度な技で競い合うのは応援する側も胸がときめき感動します。テレビや新聞でも日本選手が活躍しそうな種目を大きく取り上げますので、地球の反対側になるブラジルとは時差があつてもテレビで応援し寝不足になつた方も多いようです。今回の五輪でのメダル獲得数は、前回のロンドン五輪大会を抜いて過去最高となりました。それにしても、日本の女子選手は大活躍で見事でしたよ。

オリンピックの報道が大きくて、甲子園での夏の高校野球も少し霞んだように感じる愚僧です。また、岡山県を主会場にした夏の高校総体も、まるで忘れられた存在となり、とても残念に思いました。スポーツとは辞書に体力づくりのために行う身体運動とあります。また、余暇活動・競技とあり、陸上、水泳、球技、スキー等の各種競技となつています。近代五輪を提唱したフランスのクーベルタンは、「健全な身体に、健全な精神を宿さなければならぬ」と述べた言葉は有名ですが、スポーツマンは健康な身体だけでなく、正々堂々とした思いやりのある温かい精神を持たなければならぬと言っているのです。スポーツは戦争とは違うので、正々堂々と公正に戦わなければならないのですが、ロシアのように国を挙げて禁止薬物を使用しメダルを獲得しようとするのは言語道断です。国や社会は、スポーツとどのような関わりを持つて推進していくのだろうか。五輪を招致するために、招致委員に不正な金を渡す噂が流れるのも悲しいですね。

ブラジルでは経済が悪化してオリンピック施設を造るより、貧しい人々の社会保障に力をいれて欲しいという国民の声も大きかつたようです。2020年の東京で開催される五輪は、人種、宗教、貧富の違いを問わず、人と人との絆を深める大会になるのだろうか。日本も離婚で父子や母子家庭が増え、子供の6人に1人が貧困生活で孤立しがちです。夢と希望のある日本を何とかしたいな。合掌(奥原 曇龍)

『子供たち夢と希望は捨てるなよ 良き国目指し頑張れ大人』 どんりゅう



カット：奥原 唯

ともしび説法

日時・九月 七日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
十月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高 426 新本堂
電話 086-420-1311



法然上人ものがたり(69)

建永二年(一二〇七)二月、法然上人に流罪の宣旨が下り四国の土佐に決まりました。配流にあたっては「僧尼令」の規定に従い、僧籍を剥奪され、藤井元彦という俗名で配所に護送されたのです。

しかし、上人の行動はそれほど拘束されずに、配所の途中で説法を聞きたい貴賤男女の多くの人が集まってくるので、各地で念仏の説法をしながらの旅でもありました。

七十五歳の法然上人は、行く先々で多くの人々と出逢い、田舎の人々に念仏の教えをわかりやすく説かれながら、讃岐の本島まで流されます。一年も経たないうちに恩赦され、箕面の勝尾寺まで帰ります。

勝尾寺の「西の谷に草庵」を結び、京都にも近かったので門弟たちがしばしば訪れたようです。勝尾寺で四年を過ごした上人は、建暦元年(一二一一)八月に帰洛が許されて、十一月に五年ぶりに京都に帰られました。

すでに上人は七十九歳になり、京に住むところもなかったが、九条兼実の弟である慈円僧正のはからいで東山の大谷に住むようになります。安堵感から上人は正月二日から病床につきます。病床に伏した上人はたえず高声に念仏を称え、眠っているときでさえも、舌と口は絶えず動き低い声で念仏を称えていた。

正月二十五日、九条の袈裟をかけ眠る如く息絶えます。享年八十歳。合掌(奥原曇龍)

曇龍先生の讃仏歌『みほとけに抱かれて』の小文を拝読し、昔を思い出しました。

また七年前に八十七歳で急逝した母が、その二カ月前に元気な顔で「死ぬことは恐くないと思えてきたよ」と私に話した言葉が忘れられません。母はみほとけに抱かれて、心安らかな世界から私たちを見守ってくれているのだと改めて思いました。早島町 平松公子

秋彼岸父母を偲びて寺詣り

夕陽もつつむともしび明かり

田辺多恵子



お盆のともしび説法のお経(どんりゅう住職と長男の龍)

ともしび法話

九月はお彼岸の月。猛暑の夏も早く終わりが涼しくなってきた。欲しいですね。長い夏休みが終わり、お母さん方もホッとしますか。お寺の方も何かと行事があり、いつもバタバタです。大雨や台風季節ですが、大きな災害がないことを願っています。

生きている間にほめられたり貶されたりしても、恐れたり気にしたりする必要はないのです。しかし、死んでしまった後に貶されたりすると訂正できず、残念です。

神奈川県障害者の施設で、以前に勤めていた二十代の若者が、重度の知的障害者は周りのものを不幸にすると行って、施設に侵入し、深夜に十九人の生命を奪ったのはとても悲しいことで残念です。

ブラジルのリオデジャネイロでのオリンピックも終わり、八月の暑い日本の夏もやっと静かに眠れそうです。応援も大変。

倉敷市矢柄

徳田 勉

ともしび説法

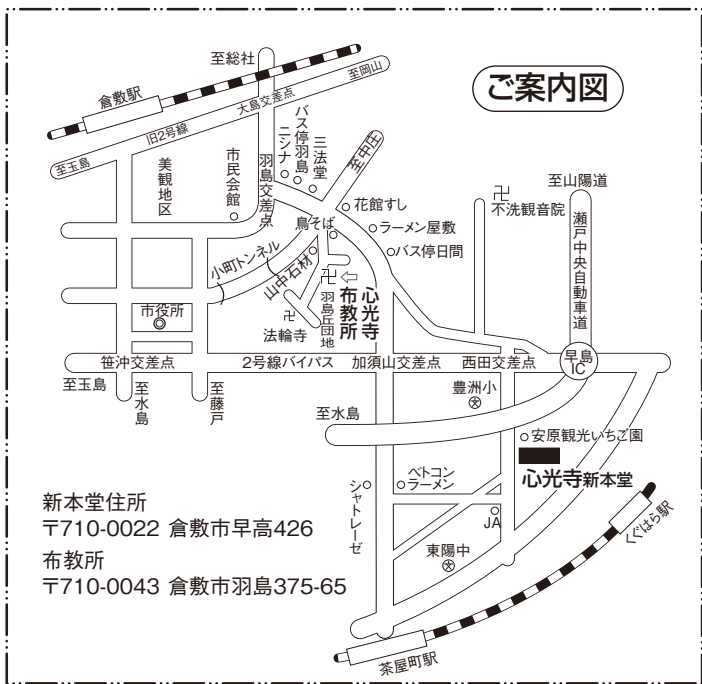
日時・九月 七日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで
十月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

十一月 三日(木)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。
午前・ハンドベル、フラダンス 午後・法要儀式、仏教講演。
十二月 十四日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426
布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65



カット:吉岡美枝

うしろの詩

あぜ道に彼岸花咲く
虫の声聞きつつ
苦しみと悲しみこえて
ふるさとの橋
流れる水に心洗われ
秋風のなかを
行けるところまで行こう



〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「320号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅に12時35分頃、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。
合掌 総代長 三村健

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。